

Democratic Youth League of Japan

全国の班と同盟員のみなさんへ

豊かな班活動を進め、青年の連帯と

行動を広げる民青同盟を大きくしよう

2011年7月9日 民青同盟中央常任委員会

東日本震災と原発事故から4カ月。全国の仲間が、青年の「自分ができているのか」「どうかしたい」思いをカタチに「何かしたい」と真剣に考え、救援募金やチャリティー活動など力を尽くしてきています。「原発に依存していいのか」という青年・学生の怒りや関心に、原発や放射線の学習、シールアンケートや署名の対話を広げました。ハローワーク調査や就活・進路交流会、米軍基地見学など、暮らしや平和の要求を堂々とかけ、運動にとりくんできました。

「原発からの撤退を」「人間らしく働きたい」「人と人とのつながりが大切にされる社会に」「核兵器のない平和な世界を」という願いは、一人ひとりの願いであるとともに、被災地、そして全国の青年みんなの願いです。この夏、社会のあり方や自分たち何ができるのか、どんな班や民青同盟をつくるのが大事なのかを語り合い、班活動を発展させ、多くの青年とつながり、仲間を迎えましょう。

「3S」で原発の話題になり、原発学習会を開くことになった「班員から震災後、給料が減った」という声が出て、実態調査にとりくみ始めた」と班会議を大切に、一人ひとりの

め力を合わせましょう。中央委員会は、東京都委員会と共同で8月10日から第3次全国青年ボランティアセンターを開設します。この間のボランティア活動では、民青同盟の日常に参加しましょう。

(1) 班活動が青年の連帯と行動の力——夏のプランをつくり、一つひとつ実現しよう

アンケートや班会議で、同盟員・青年の願いを出し合い、その声に応えることが班活動の出発点です。班プランをつくる時、BBQやハイキング、しゃべり場やボランティア報告会、被爆者の体験を聞く会、若者実態調査など、なんでも交流し、学び、行動する豊かな班活動を進めながら、新しい社会をつくる青年の連帯と行動をさらに大きく広げましょう。



福島・いわき市でがれきを片付けるボランティアたち

被災者支援へ力を合わせるよう

家族や友人を失った悲しみを背負いながら、いまなお厳しい生活を強いられている多くの被災者がいます。仕事や生活の見通しがもてない不安も増えています。チャリティー企画やボランティア報告会を開き、「自分たちができることは何か」「政治の役割は何か」を学んで、被災者によりそう復興を実現するた

術であり、ひとたび事故が起ればはかりしれない被害をおよぼします。地震などに対する原発の「安全基準」を裏切ることとは不可能であり、「安全な原発」などありえません。原発からすみやかに撤退し、自然エネルギーへ転換することが必要です。「原発をなくすなんて可能なのか」などの疑問にも心をよせ、原発ゼロの展望をともに学び考えていくことが大切です。

10月23日(日)に東京・明治公園で「震災だから」じゃすまされない! まともな仕事と人間らしい生活を! 全国青年大集会2011が開かれます。実行委員会アピールを読み、みんなの願いを出し合い、県や地域でも実行委員会をつくり、班員や友人・知人の実態を広く集め、集会に向かしましょう。8月の原水禁止世界大会に、折り鶴や核廃絶署名を集め、つながりある青年を誘って参加しましょう。

「綱領・古典の連続教室」を班員みんなで楽しく学ぼう

「生きづらいつらい社会の原因を知りたい」と学生が加盟「ハローワーク調査で『資本主義がおかしい』という声が増えてきた」と政治や社会のあり方の根本に迫れる学びの魅力が光っています。日本共産党の「綱領・古典の連続教室」が、「時間は人間発達の場」というマルクスの言葉に共感。一人でも多くの人がある余裕をもてる社会をつくりたい(「古典教室第3回の感想」)、「日米安保条約を自分たちの世代でなくしたい」と思った(「綱領教室第4回の感想」)など感動を呼んでいます。班員みんなに連続教室で学ぶおもしろさを伝え、食事会や交流とセットで班のガマンを強いる動きもありません。楽しく学ばせよう。

仕事と暮らし、平和の願いを集め、発信しよう

民青同盟は活動に必要な財政をみんなの力で支えています。募集、原発撤退署名、若者実態アンケートなどのとりくみと一同盟の果たしている役割は、財政活動の努力があつてこそ発揮できるものです。財政活動を通じて班員とつながることは、一人ひとりの生活や悩みをよめる民青同盟のあたたかさを発信する活動です。班活動の確立、財政活動にとりくむ同盟員を広げましょう。

(2) 3中委決定に立ち返り、仲間を増やすために力を合わせよう

「まわりの青年を誘ってつどいを開き、毎月新しい仲間が増えていく」を目標に、「一緒にやろう」と加勢を呼びかけられるようになり、新入生を民青に迎えたい「もっと早く出会いたかった」など、第3回中央委員会決

(3) みんなの力で民青同盟の財政を支えよう

3中委アピールを受けて、無料塾、つながりある高校生を訪ねる活動、高校生相談員の交換する活動、高校生相談員の交換の条件を生かし、食べ物企画やしゃべり場、宿題解決ゼミ、スアや原発学習会などに、各地で高校生が参加しています。震災を受けて延期になっていた全国高校生集会を、8月17・19日に開催します。高校生同盟員に参加を呼びかけるとともに、新しい仲間を迎え全高集に送り出しましょう。

(4) 全国高校生集会へ、高校生の願いに応え、新しい仲間を迎えよう

3中委アピールを受けて、無料塾やチャリティー企画など、県・地区・相談員が独自に高校生の願い、関心に応える活動にとりくみ、新しい仲間を迎えましょう。